



文字サイズ [拡大](#) [標準](#) [縮小](#) 色合い [標準](#) [青](#) [黄](#) [黒](#) [音声読み上げ](#)  
 Multilingual [English](#) [中文簡体](#) [中文繁體](#) [한글](#)  
[サイト内検索](#)  [検索](#)

みどころ満  
光



ホーム > 区政情報 > 広報・広聴 > 報道発表資料 > 平成25年 > 報道発表資料 (25年9月)

Tweet

平成25年

- [報道発表資料 \(25年1月\)](#)
- [報道発表資料 \(25年2月\)](#)
- [報道発表資料 \(25年3月\)](#)
- [報道発表資料 \(25年4月\)](#)
- [報道発表資料 \(25年5月\)](#)
- [報道発表資料 \(25年6月\)](#)
- [報道発表資料 \(25年7月\)](#)
- [報道発表資料 \(25年8月\)](#)
- [報道発表資料 \(25年9月\)](#)
- [報道発表資料 \(25年10月\)](#)
- [報道発表資料 \(25年11月\)](#)
- [報道発表資料 \(25年12月\)](#)

報道発表資料 (25年9月)

更新日 2013年10月08日

空き屋を活用した、地域の人たちの顔が見える居場所づくり～気軽に集まり交流できるみんなの居場所「こまじいのうち」がオープンします【事前PR】～

平成25年9月30日

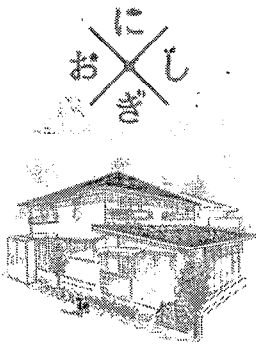
いつ	平成25年10月1日 (火曜日) 午前11時～
だれが	駒込地区町会連合会
どこで	文京区本駒込5-11-4
内容	<p>文京区の駒込地区町会連合会では、孤立しがちな一人暮らしの高齢者や子育て中のお母さん、青少年の居場所のあり方など、地域が抱える様々な課題があることを受け、誰もが気軽に集まり交流することのできる、みんなの居場所「こまじいのうち」を開設します。</p> <p>「こまじいのうち」は、駒込地区にお住いの方からの「空き家を地域の中で活用してもらいたい」という申し出を受け、その空き屋を活用するとともに、駒込地区12町会による分担金や東京都の「地域の底力再生事業助成」を活用し、地域の方たちの力で運営されていきます。</p> <p>10月1日 (火曜日) にオープニングパーティーを行った後は、高齢者や子育て中の母親、子どもたちなど、幅広い年代ごとのプログラムも計画されており、懐かしい昭和の雰囲気あふれる民家「こまじいのうち」は、赤ちゃんから高齢者まで、誰もが気軽に憩える地域みんなの「居間」を目指します。</p> <p><b>【概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所在地 文京区本駒込5-11-4</li> <li>・開設 平成25年10月1日 (火曜日)</li> <li>・開館時間 プログラムの時間帯</li> <li>・休館日 日曜日・月曜日</li> <li>・運営 駒込地区町会連合会 (実行委員会)</li> <li>※ 実行委員会は5～9月に計5回開催され、町会長・各種団体・ボランティアなど、毎回約30名の方が出席し、事業開始に向け準備が進められてきました。</li> <li>・事業予定 (高齢者向けプログラム)             <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 囲碁・将棋・健康麻雀 (認知症予防) ・みんなで作る健康料理・健康相談・まちかど談話室 (子育て中のお母さん向けプログラム)</li> <li>◦ 育児何でも相談・栄養士による「離乳食講習会」 (青少年向けプログラム)</li> <li>◦ 学習支援教室・ゲーム大会・かんたん料理教室 (ふれあいサロン)</li> <li>◦ 世代を超えた交流会や講習会</li> </ul> </li> <li>・オープニングパーティー 平成25年10月1日 (火曜日) 午前11時～午後3時 (内容) 駒込地区町会連合会会長あいさつ、来賓あいさつ、茶話会</li> <li>・運営費 駒込地区12町会の分担金や寄付金の他、東京都の「地域の底力再生事業助成」を活用</li> </ul> <p><b>【空き屋の提供者秋元康雄氏 (神明西部町会副会長) のコメント】</b>                  この居場所「こまじいのうち」を地域の中で活用してもらい、地域の交流の場として盛り上げていきたい。また、ボランティアとしての参加も大歓迎ですので一度見に来てください。</p>

「災害応援に関する相互協定」の実効性を高める具体的な支援を継続・拡充～文京区では豪雨により被害を受けた鳥根津津和野町に職員を派遣します～

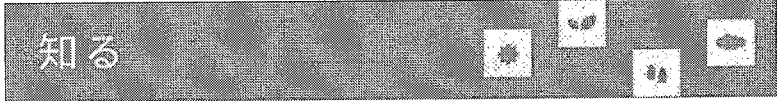
平成25年9月30日

いつ	平成25年10月1日 (火曜日) ～
----	--------------------

okatte



アクセス お問い合わせ facebook



トップページ > 知る

## つくって食べる、みんなの”お勝手”

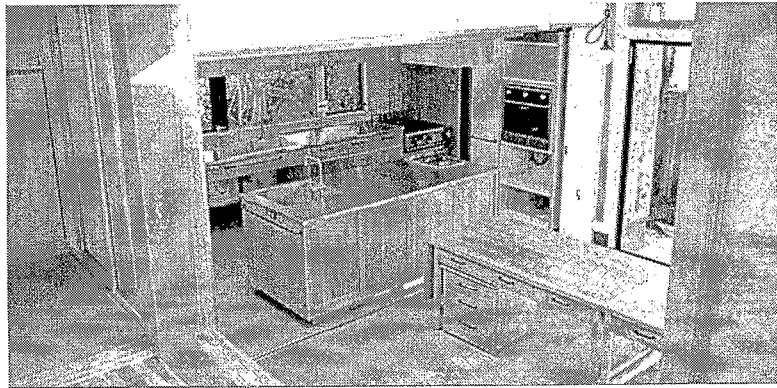
“食”を中心とした、まちのパブリックコモンスペースです。  
 風と緑、光にあふれた空間。みんなで使えるキッチンがあります。  
 ごはんをつくる、つくってもらう、仲間とあそぶ、まちの人とあそぶ、  
 使い方はさまざまです。メンバーどうしてシェアしつつ、  
 まちに開かれたオープンな場所。みんなの“okatte”がここにあります。

知る about	参加する membership
行く access	見る photo
メンバー説明会	
イベントカレンダー	



キッチンという意味の“お勝手”は昔から、  
 その家の住人だけでなく、ご近所さんも行ったり来たりする場所でした。  
 まちのひとと関わりながら日々の暮らしを自在に営んでいく、  
 しなやかで温かな場所だったので。  
 そんな“お勝手”を道路に面したところにつくったことで、  
 若者男女誰でも気ままに立ち寄ることができるようになりました。

## メンバーシップ制のパブリックコモンスペース



okatteにしおぎは、メンバーシップ制のパブリックコモンスペースです。  
 ⇒ okatteにしおぎのメンバーシップ  
 仕事帰りにぶらっと立ち寄ったり、ワイワイごはんを食べたり、

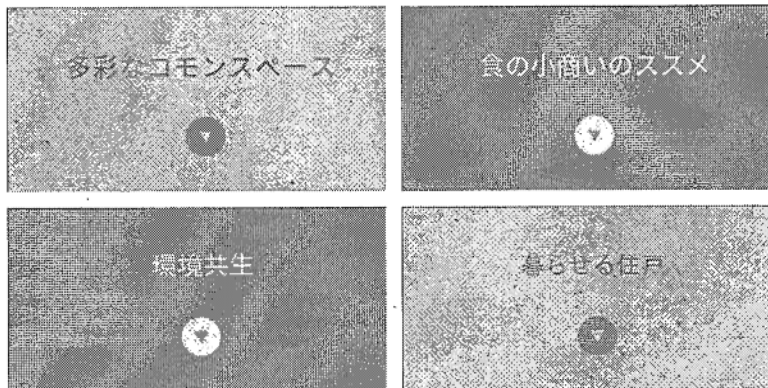
ちょっと打ち合わせしたり、それぞれに使いながら維持管理・運営を行います。

時間帯によっては、メンバー以外の方も訪れることができる、

まちに開いたコモンスペースとなります。



## 多彩なスペース、多彩な関わりかた



### 多彩なコモンスペース

okatteにしおぎには、使いみち広がる多彩なスペースがあります。

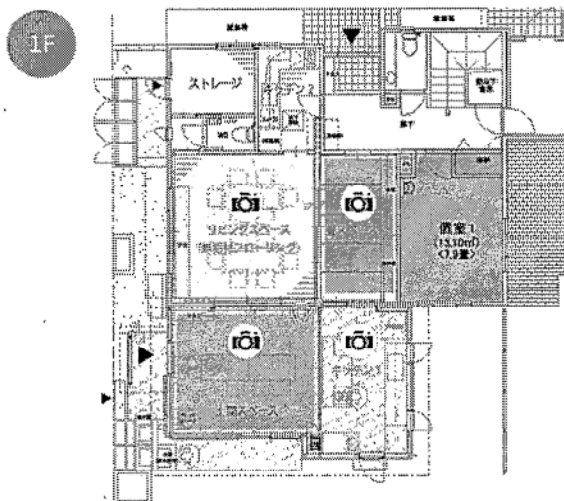
みんなでお料理できる、明るくて気持ちのよい広々としたキッチン。

わいわいとごはんを食べたり、ワークショップなども可能な土間スペース。

ヨガや上映会などできるリビングスペース。

ゴロンとできて、小さな子どもも安心な、畳スペース。

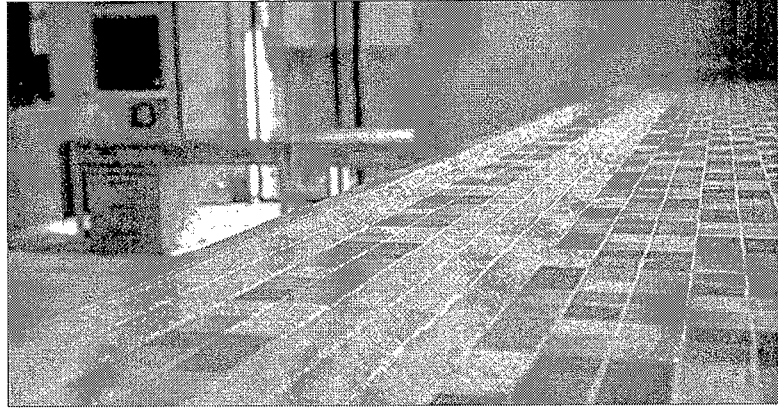
⇒ okatteにしおぎギャラリー



田の字に繋がったスペースは、すべてを一体に使ったり、  
建具で仕切ってそれぞれのスペースを別のことに使ったり、  
かつての日本家屋のような、変幻自在な空間です。



### 食の小商いのススメ



1階のキッチンには、飲食店営業の許可取得を予定しています。

「得意のベーグルを作って販売したい」

「故郷の特産品を試食販売したい」

「地元の食材でジャムを作って売りたい」

などの想いをかなえることも。

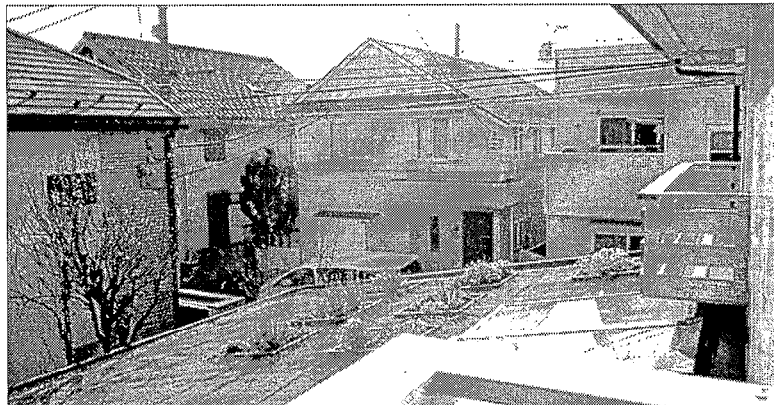
ひと・まちとのつながりを大事にする「食の小商い」を、

okatteにしおぎではじめてみませんか。

⇒ 小商いメンバーについて

TOPへ

## 環境共生

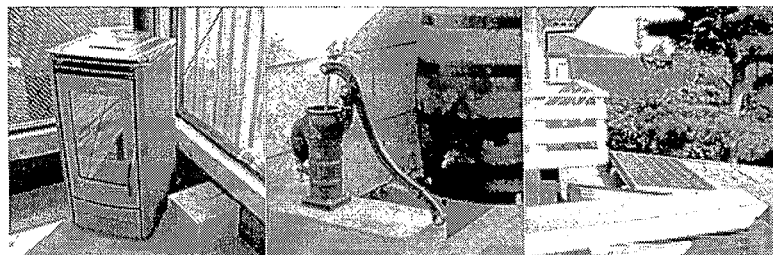


okatteにしおぎは、環境とのつながりも大切にしています。

草屋根、ベレットストーブ、雨水利用、太陽光によるオフグリッドの電力供給

などを取り入れています。

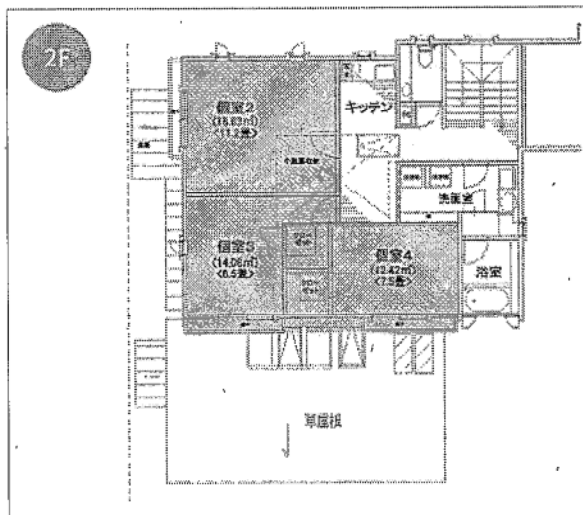
資材も、東京産の木材を使用しました。



TOPへ

### 暮らせる住戸

まちの人がシェアするキッチン&リビングの2階には住戸があります。  
住む人も、コモンスペースのメンバーの一員です。  
同じ建物のひとだけでなく、まちのひとともシェアします。



[TOP↑](#)



## はじめての方へ

笑恵館はどなたでも訪問可能な「みんなの家」です。まずは、気軽に美味しいパン屋さんへご来店ください。

営業時間は、月曜日～土曜日の11:30～18:00です。

笑恵館について詳しい説明、見学を希望される方は、事前にお問い合わせいただきますよう、お願いいたします。

→ [お問い合わせフォーム](#)へ

★101、102号室 入居会員募集中→[詳しくはこちら](#)



## 目次

- [ホーム](#) ▷ [笑恵館とは](#) ▷ [施設紹介](#) ▷ [運営の仕組み](#)
- [どなたでも](#)：笑恵館ショップ/イベント
- [家族になると](#)：予約利用規約/レンタルセルフ規約/居住利用規約/笑恵館クラブ規約
- [笑恵館ブログ](#)：公益レポート/笑恵館だより/施設だより/雑・その他
- [施設案内](#)：笑恵館への道順をご案内します。



- レンタル予約状況 : 笑恵館クラブの会員はこちらから仮予約ができます

## お知らせ



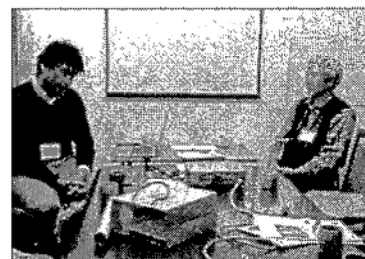
2016-09-20 事務局からのご案内  
9/20 笑恵館・持ち寄り食事会のご案内

## コスモスCAFE

9/15 11:00~15:00

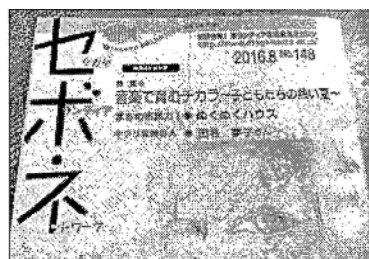
アトリエケイ・アートタナ  
ティーハウスレンファ・このみや書店  
ビタミンR・タンスの肥やしなくし隊

2016-09-15 事務局からのご案内  
9/15 コスモスCAFE (笑恵館マルシェ③)



2016-09-13 事務局からのご案内  
9/13 笑恵館クラブの運営会議

## 笑恵館ブログ



2016-08-01 4メディア  
セボネNo.148 に掲載されました



2016-08-01 1.笑恵館だより  
『笑恵館だより』2016年8月・第29号を発行しました



2016-07-31 2.公益レポート  
ダイ先生のアートレッスン R-1607



2016-07-31 2.公益レポート  
STEMON R-1607



2016-07-31 2.公益レポート  
Annie's English Town R-1607

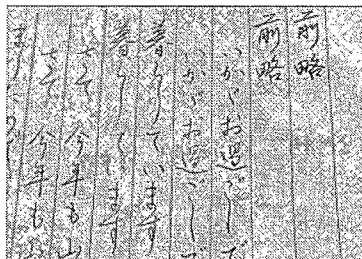


2016-07-15 2.公益レポート  
演劇の会 R-1607



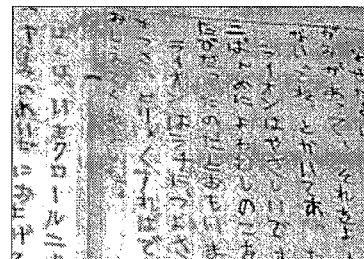
2016-07-01 1.笑恵館だより

『笑恵館だより』2016年7月・第28号を発行しました



2016-06-30 2.公益レポート

公文砧6丁目書写教室 R-1606



2016-06-30 2.公益レポート

せたがや作文教室 R-1606



2016-06-30 2.公益レポート

ウクレレの練習をする会 R-1606



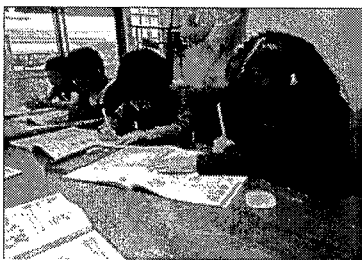
2016-06-30 2.公益レポート

STEMON R-1606



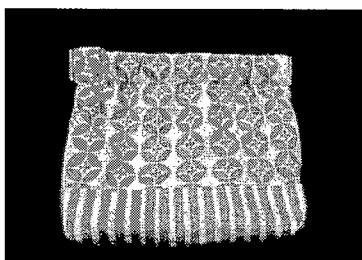
2016-06-30 2.公益レポート

ダイ先生のアートレッスン R-1606



2016-06-30 2.公益レポート

Annie's English Town R-1606



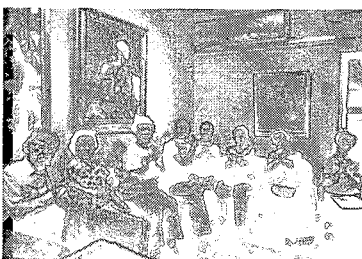
2016-06-24 2.公益レポート

ダンスの肥やしなくし隊 R-1606



2016-06-22 2.公益レポート

健康ボイストレーニングの会 R-1606



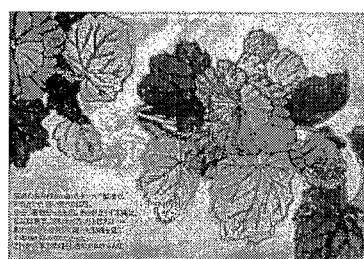
2016-06-20 2.公益レポート

笑恵館でうたう会 R-1606



2016-06-14 2.公益レポート

演劇の会 R-1606



2016-06-14 2.公益レポート

第一木曜 おしゃべり会 R-1606





2016-06-12 1.笑恵館だより



2016-06-03 2.公益レポート



2016-06-03 2.公益レポート



2016-06-03 2.公益レポート

公文砧6丁目書写教室 R-1605



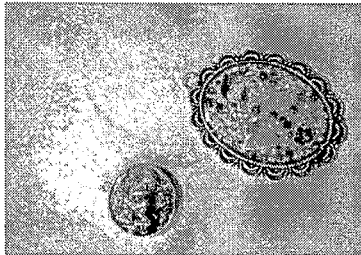
2016-06-03 2.公益レポート

ハワイアンフラ・ミュージックセラピー R-1605



2016-05-30 2.公益レポート

若石リフレ&スクール「マイセルフ」 R-1605



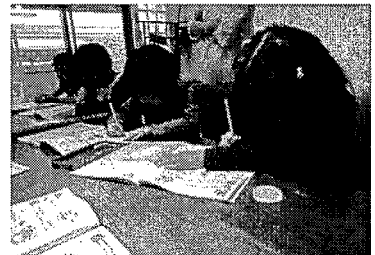
2016-05-30 2.公益レポート

ビタミンRの工作 R-1605



2016-05-27 2.公益レポート

ダイ先生のアートレッスン R-1605



2016-05-25 2.公益レポート

Annie's English Town R-1605



2016-05-24 2.公益レポート

STEMON R-1605



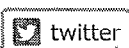
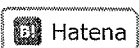
2016-05-24 2.公益レポート

演劇の会 R-1605



2016-05-17 2.公益レポート

笑恵館でうたう会 R-1605



笑恵館の

## 利用案内

---

「みんなの家」とは、「みんなが自分の家と思う家」のこと。  
それは[家族]…笑恵館の願いは、家という場所を介してみんなが[家族]になること。  
1軒の家を自分の家と思う人たちを、[家族]と定義してしまう新しい提案です。

---

### どなたでも気軽にできること

---

#### ■お買い物

---

- せたがやブレッドマーケット(パン屋さん) 10~18時 日曜・祝日定休
- 笑恵館ショップ(食堂奥の棚) 会員有志によるセレクトショップ

▣[せたがやブレッドマーケット](#) ▣[笑恵館ショップ](#)

---

#### ■館内での飲食

---

- 笑恵館で購入されたパンや飲み物は、持ち込んだ食材と一緒に召し上がり下さい。
  - 場所：食堂またはデッキ
  - ドリンクコーナー  
コーヒー・紅茶：100円、カップスープ：50円
- 

#### ■イベントへの参加

---

- 笑恵館では、どなたでも参加できる、様々なイベントを開催します。
- 詳しくは館内のご案内をご覧ください。

▣[笑恵館主催イベント](#) ▣[会員主催のイベント](#)

---

#### ■見学・視察

---

- 笑恵館では、開館時間中であれば、いつでも見学・視察を受け入れています。
- スタッフによる「事業説明と施設のご案内」をご希望の方は、下記の要領で承ります。  
内 容：オーナーもしくはスタッフによる事業説明と施設案内  
所要時間：1時間程度  
費 用：1,000円/人  
申込方法：[問い合わせフォーム](#)より、「お名前・人数・見学目的、希望日時(複数)」などを添えて「見学希望」としてお申し込みください。

- 毎月第3火曜日の16時より、「笑恵館を学ぼう」という説明会を開催しておりますので、こちらもご利用ください。詳細は[こちら](#)

## 笑恵館ショップ

---



笑恵館には、美味しいパン屋さんの他、小さな棚に商品を並べた笑恵館ショップがあります。せたがやブレッドマーケッ...

詳しくは[こちら](#)

---

## イベント

---



笑恵館が主催する、どなたでも参加できるイベントをご紹介します。A・交流【笑恵館ミーティング】第3火曜日 1...

詳しくは[こちら](#)

プレーパークには思春期の子どもたちも地域の大人もフラッと遊びに来ます。プレーパークだけでなく、地域の大人も子どもたちと焚き火を囲んで他愛のないおしゃべりをしたり、何か起きたときにサポートしたりしています。

# プレーパーク流 思春期の子どもとつきあう12の方法

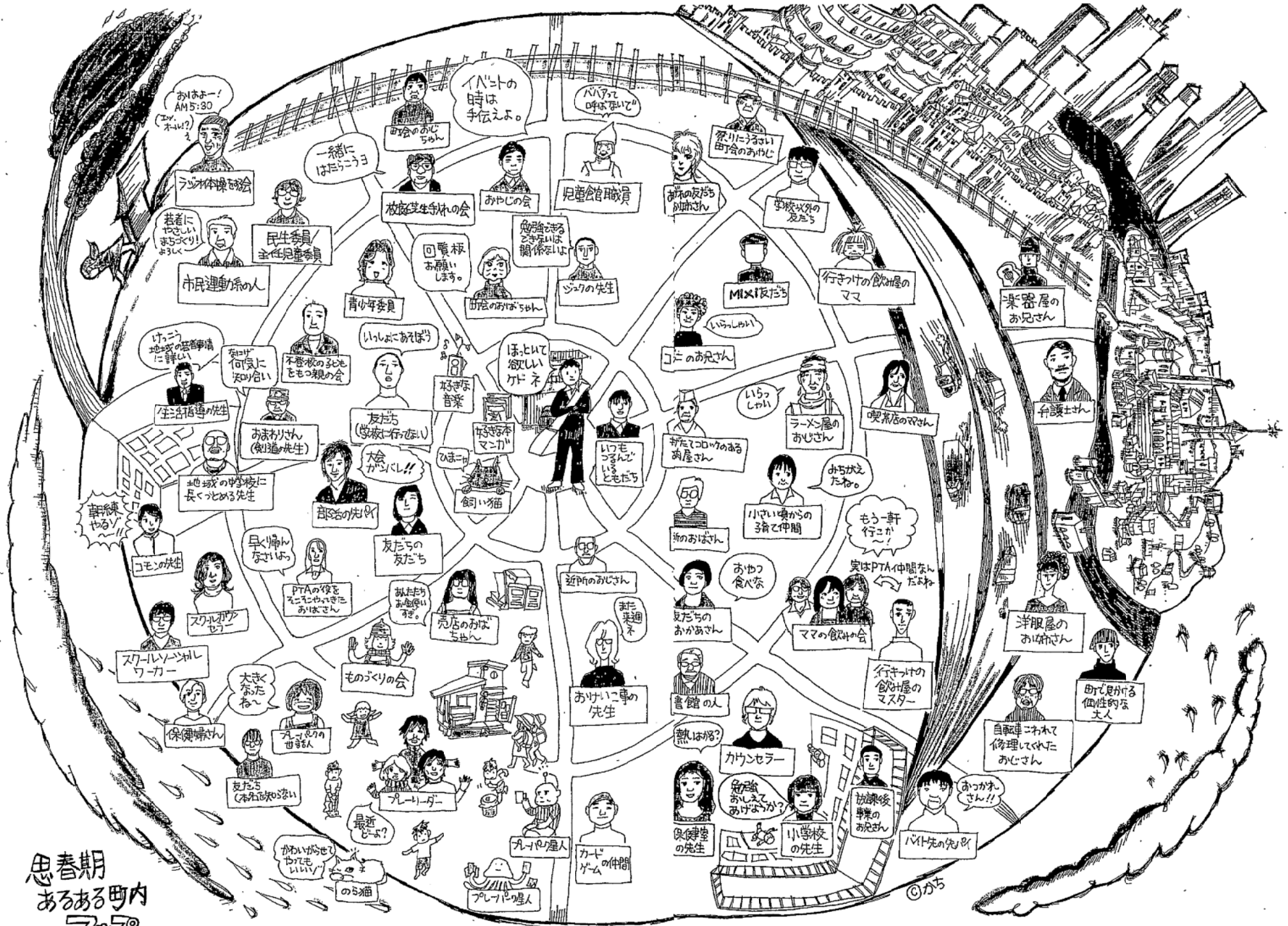
<p>日常のささいなやりとりをただ楽しむ</p> <p><b>基本話は最初に聞く</b></p> <p>ほめてかからない</p>	<p><b>ヒミツは守る</b></p> <p>ウチの子にもナイショ?</p> <p>言わないで</p> <p>せつない</p>	<p>「これは...」と思ったときはどこまでも追及して</p> <p><b>こってりしぼる</b></p> <p>しぼったらすぐに死ねる</p> <p>ウソはバレるんだよ!!</p>
<p>いろんな人が勝手に子どもに話かける</p> <p><b>みんなを支えるよ</b></p> <p>手伝って</p> <p>お元気がたつ</p> <p>久しぶり</p>	<p>いろいろな距離の大人が</p> <p><b>それとなく見守る</b></p>	<p>気になるときはみあげさないよ</p> <p>ちょっと突っこんでみる</p> <p>ぶーっ!</p>
<p>うわさ、また聞きにまどわされない</p> <p>(自分で会って感じる)</p> <p>親がさー</p> <p>あつかさ</p> <p>聞いてたのし</p> <p>ちかうじさん</p>	<p><b>自分のペースで</b></p> <p>(無理しない)</p> <p>わかる</p> <p><b>火よう日はお休みです</b></p>	<p>言いたい気持ちに寄りそう</p> <p>話の内容がホントかウソかにどうかわからない</p> <p>マズハナツタキイテケレヨ。ホントカウソナニダレカワカレ。イマココニイルコ。</p>
<p><b>評価しない</b></p> <p>感じたことを伝える</p>	<p><b>大人も自分を隠さない</b></p>	

そして子どもの親とも知り合ったら、プレーパークでの様子を伝えるなど、何気ない楽しい時間を過ごしながら仲間になっていきます。

## オマケ編 大人どうしてき合う12の方法

<p><b>子</b> 育ての仕方をお叱りしない 生き方にまど踏み込まず 気になることは大人本人に具体的に</p>	<p><b>親</b> にも理由があるんだよ だれでもさまざまな事情を抱えているんだよ。</p> <p>(非常識と思える言動も)</p>	<p><b>怒</b> リキ狂っている親も アッ! 思っヨ</p>
<p><b>ま</b> た聞き、うわさを信じない</p> <p>おまけのオマケ</p>	<p><b>誰</b> ども今ここに いることを尊敬</p>	<p><b>自</b> 分の違いも楽しもう</p>
<p>親が知らない 子どもの様子を伝える</p> <p><b>知</b></p> <p>買って食べ</p> <p>おまけ</p>	<p><b>一</b> 緒に人生を楽しむ 仲間</p>	<p>子ども<b>抜</b>きでも つき合えると良い</p> <p>またか!</p>
<p><b>な</b> にかしどかしても親はどうしようもないよね</p> <p>おまけ</p>	<p><b>長</b> いスタンズでつき合う。 調子イイときもワレバときもあるさ。</p>	<p>子どもの<b>道</b>がちがって 関わりかたがうまくなくてもまたいつか出会いたい</p> <p>こねのしりあな</p>

プレーパーク流 思春期の子どもとつきあう12の方法



思春期  
あるある町内  
マップ  
地域をホームに

このマップは、思春期の子どもや親の体験を基につくりました。



## 夜のこどもの居場所づくり「トワイライトステイ」

2014年頃、滋賀県大津市で、特養施設や商店街の空き店舗などの施設をうまく活用し、ボランティアによる家庭的な運営で始まったこの取組は徐々に広がりを見せています。

新聞に掲載された記事等を転載いたします。

近年は東京都豊島区などでも実例があるようです。なお、同名の取組で既存の公共施設で料金制で夜間、児童を預かる取組も増えてきています。

### 夜の居場所 子供に 家庭の団らん、地域で / 滋賀

毎日新聞 2015年12月3日 地方版

親が仕事などで夜に家を空け、独りきりとなる子供たちの「居場所」を作る試みが、昨年度に大津市で始まり、今年度は県全域に広がっている。ボランティアの大学生らが1対1で子供たちと密に接するのが特徴。特別養護老人ホームを開放した取り組みでは、高齢の入所者が子供たちと触れ合い、表情が柔らかくなるなど副次的な効果も出ているという。大津市で先月開かれた関係者の報告会を取材した。【竹下理子】

トワイライトステイは、国の「生活困窮者自立支援制度」の一環。大津市は昨年度から、市社会福祉協議会に委託し、市内のNPO事務所など3カ所で週1回、放課後に小学生から高校生の子供を受け入れている。社会福祉士らの専門家が見守るなか、龍谷大学の学生ボランティアがマンツーマンで宿題を見たり、一緒に食卓を囲んだりしており、市や学校、NPOなどが連携しながら、受け入れる子供を決め、状況を報告し合う。

この活動に、県内の福祉分野19団体・200法人でつくる民間組織「滋賀の縁（えにし）創造実践センター」が注目。現在は大津市2カ所、甲賀市1カ所の特養などに「フリースペース」を設置し、それぞれ週1回、夜に子供を受け入れている。主な対象は小学生だが、きょうだいで参加が良いと判断すれば、中学生や未就学児の預かりにも柔軟に対応。トワイライトステイと同様、1人の子供に大人が1人付く。

#### 大人と一緒に夕飯作りも

センターは同時に、子供が地域の大人たちと夕食を作って食べる「遊べる・学べる淡海子ども



トワイライトステイ活動の様子。

買い出し、調理、そしてみんなで食事します。



も食堂」を大津、長浜、栗東、守山各市の計6カ所で月1回程度、実施している。商店街のコミュニティスペースなどを活用し、子供たちに家庭的な雰囲気の中で食事を提供する。

先月28日に開かれた集会では、活動について、各団体の代表者が発表した。トワイライトステイを実施するNPO法人「あめんど」の恒松睦美理事長は、親に否定されることが多い子供は「どうせあかん」と思い込んで、言葉で気持ちを伝えることが苦手な傾向にあると指摘。長い時間をかけて信頼を築くことで、「子供たちがコミュニケーションを取れるようになった」と述べた。

### 「駆け込み寺」として

また「フリースペース」が開催されている大津市月輪1の特養「カーサ月の輪」の日比晴久施設長は、施設には風呂や食事、送迎車など子供の受け入れに必要なものがそろっていると説明。「高齢者にとっても、子供たちと過ごす時間は貴重。福祉施設には、さまざまな専門を持った職員がおり、子供の『居場所』としても生かしていきたい」と語った。24時間職員がいるという強みを生かし、いざという時に子供が頼れる「駆け込み寺」のような存在を目指すという。

一方、「子ども食堂」を運営する大津市のNPO法人「カズン」の谷口久美子理事長は、「月1回では大人が子供に開いてあげる『イベント』。これを生活の一部にしなければいけない」と指摘。「子供たちの居場所がなくならないよう、一度始めたら継続する覚悟も必要。商店街や地元の料理上手の女性たちを巻き込んで、一緒に進めていきたい」と強調した。

## 学生が差し伸べる温かい「手」 貧困世帯の子供と夕食

2015.1.13 13:50 産経WEST

家庭環境の事情から、満足に食事や教育を与えられない子供たちに手を差し伸べようと、龍谷大の学生たちがこうした境遇の子供たちと一緒に夕食の食卓を囲む取り組みを進めている。活動資金や人員の確保といった課題はあるが、学生らは「活動を通して、社会をよくするための糸口を見いだしたい」と話している。

### 子供の笑顔がはじける「トワイライトステイ」

「さあ、ご飯にしよう」

こたつを囲んでおこなわれていたトランプ遊びの最中、こう声がかかり、卓上は夕食準備に変わった。

今月8日夜、龍谷大が所有する大津市京町の「町家キャンパス龍龍（ロンロン）」同大学の学生ら5人と、10代半ばの少年3人が一緒に鍋をつつく。

「やっぱり寒い日は鍋やね」「この肉、誰か食べなよ」「白菜も食べないと」

たわいない会話を交わしながら、箸を手にした少年たちは、すぐにご飯を平らげておかわりを求める。鍋の周りで笑顔が弾けた。

生活保護世帯や1人親家庭など、生活困窮の問題を抱える家の子供たちと週1回、一緒に夕食を取る「トワイライトステイ」という試みは、厚生労働省のモデル事業として、大津市社会福祉協議会などが昨年3月に始めた。現在では、市内3カ所で取り組まれている。

この試みを提案した社会福祉士の幸重忠孝さん（41）をはじめ、龍谷大の学生ボランティア団体「トワイライトホーム」や子育て支援を手がける市内のNPO法人が連携して活動に当たっている。

### 「貧困の連鎖」をどう防ぐか

経済協力開発機構（OECD）は、その国や地域の平均的な所得の半分を下回る世帯を「相対的貧困家庭」と規定。これに基づき、厚生労働省が実施した調査では、相対的貧困家庭で暮らす子供の比率「子供の貧困率」は平成24年で16・3%と、過去最悪を記録した。

子供の6人に1人が、相対的貧困家庭で暮らしている計算。その多くが、1人で夕食を取ったり、必要な栄養が摂取できていなかったりしている。さらに、そうした状況下の子供は、学校の勉強についていけず、それが原因で「いじめ」に遭うケースも多く、「子供の貧困」が深刻な社会問題となっている。

そうした子供たちが大人になっても、一定の収入が得られる職に就けず、その家庭も相対的貧困となる「貧困の連鎖」も生じている。この連鎖をどうやって断ち切るかが、行政やコミュニティーなどに課せられた課題だ。

### 反省会で次回につなげる

トワイライトステイの活動時間は、午後5～9時。夕食の買い出しや調理などを学生や子供たちが分担しておこなったり、一緒に勉強やトランプをしたりして家庭的な雰囲気の中で一時を過ごしている。

子供たちが帰ったあと、学生たちやNPOのメンバーらは反省会を開く。子供たちについて、その日の様子や以前と比べた変化などの情報を共有。次回の活動時にその子供とどう接するかなどについて協議しておく。

メンバーの一人、同大学社会学部2年の長谷川大介さん（20）は「活動に参加するまで『子供の貧困』という問題を知らなかった。取り組みを続けることで、この問題の存在を多くの人に知らせたい」と話す。

また、同学部2年の長野康平さん（20）は「子供の気持ちを大人が理解してやれる場として価値がある」と活動の意義を強調。子供たちは参加を重ねるごとに心を開いていき、家庭の悩みや将来への不安などを学生たちに口にするようになったという。

### 「子供が子供らしくいることができる時間を」

この活動に、県内約200の社会福祉法人などで構成する「滋賀の縁（えにし）創造実践センター」（草津市）が着目。せっかく始まった試みを県内全域に広げようと、手始めに協力が得られた特別養護老人ホームで来月、不登校児を対象にした居場所づくりを始める。

一方、課題もある。トワイライトステイの活動は、今年4月に施行される「生活困窮者自立支援法」のモデル事業だったため、今年度の活動資金は全額国の補助で賄えた。しかし、来年度はこの補助がなくなる。

また、学生メンバー約20人のうち半数は4年で、今年度に卒業してしまうため、新たな担い手の確保が急務だ。

活動の立ち上げに携わった幸重さんは「子供が子供らしくいられる時間をつくってあげたい。地域の中で育てた子供が元気になれば、地域にも活気が生まれるはず」と力を込める。

東京都豊島区で同じような取り組みに携わる「豊島子どもWAKUWAKUネットワーク」の栗林知絵子理事長は「子供たちと年齢の近い学生が活動に参加するのは重要。活動に学生が入ることで、問題を考え社会を変えるきっかけになるはずだ」とエールを送っている。（小川勝也）